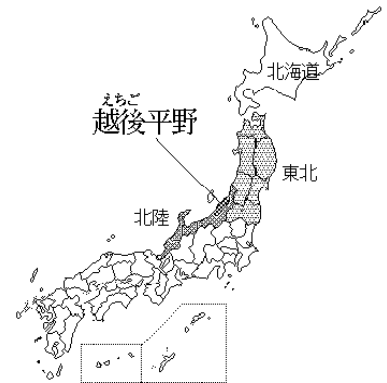


〈まとめ〉

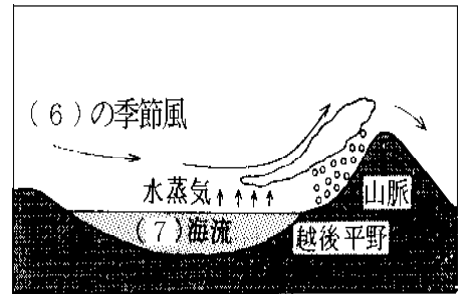
1 雪にうもれる十日町

- ・日本一長い(1)川ぞいにある(2)県の十日町市は、豪雪地帯として知られています。
- ・降った雪が消えずに残っている(3)の期間は、平均すると約4か月にもなります。
- ・(1)川は(4)県・(2)県と流れ越後平野から日本海に注ぎます。



2 雪の多い地方

- ・日本では、(5)側の地域に雪が多く降ります。
- ・冬、大陸から吹く冷たくかわいた(6)の季節風が、(5)を流れる暖流の(7)海流の上で、水蒸気をふくむ。
- ・この季節風が日本列島の山々にあたり上昇し、冷やされて雪を降らせる。



3 雪から家を守る工夫

- ・屋根に積もった雪をおろすことを(8)(雪ほり)という。家の庭木にかかる雪の重みを減らすため、(9)をつくることもある。
- ・家は重い雪にたえられるようにくふうされている。柱を(10)くしたり、屋根の傾きを(11)にしたり、パイプで屋根に雪を流したりして雪をとかしている。
- ・(12)を長靴につけて雪の深いところをうまらないようにしている。

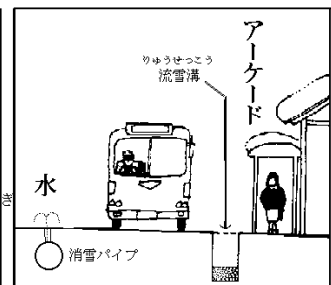
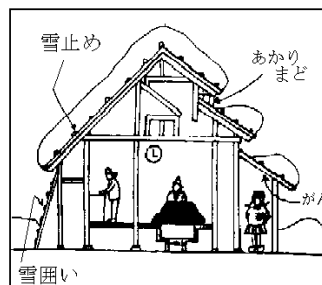
4 道路などの工夫

- ・道路からは、(13)車やブルドーザーを使って除雪している。
- ・ほかに道路のわきに雪を流すみぞをつくる(14)、道路の中央に地下水を吹きださせる(15)などのくふうがある。
- ・(13)車で線路や道路の雪を取り除く。また、線路や道路ぞいに(16)林などを設置している。

・昔は、家のひさしをのぼして(17)をつくり、その下を人々が行き来していた。

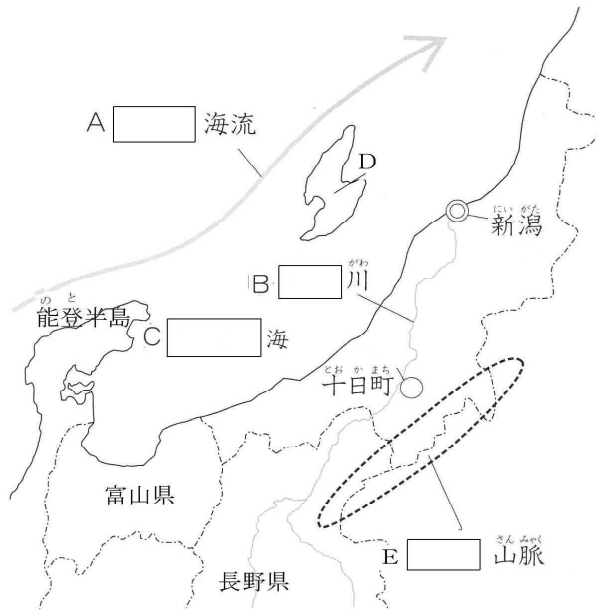
・現在は、歩道の上に長い屋根をつけた(18)が商店街などにつくられている。

・ボイラーであたためた水を、地下のパイプに流して雪を溶かしているところもある。



5 地形など

- ・ (19) 地方の日本海側の福井・石川・富山・新潟の 4 県を (20) 地方とよぶ。
- ・ 下の地図の A～E の にあてはまる名を答えなさい。
(『考える社会科地図』を見ましょう。)



練習 1. 次の会話文を読んで、後の問いに答えなさい。

先生：今日は、先生の生まれたところについてお話をしますね。先生は、 A 川ぞいに位置する、 B 県十日町市というところで生まれました。冬は寒く、日本でも雪が多く降るところとして有名なんですよ。

さとし：どのくらい雪が降るのですか？

先生：最も深く雪が積もったときには、4 m 以上になったこともあるので、みなさんの身長メートルの 2 倍を、はるかにこえていますね。

ともき：すごいなあ。でも、どうしてそんなに多くの雪が降るのですか？

先生：冬、大陸からふいてくる冷たいかわいた C の季節風が、①日本海をわたるとき、海から蒸発する水分をたっぷり含みます。それが山脈などにそって上がりながら、雪雲となって多くの雪を降らせるのです。

あやか：②雪国の人たちのくらしは大変なんでしょうね。

先生：冬になるとみんなで雪かきや雪おろしをするんですよ。③町のあらゆるところにも、大雪による被害を防ぐためのさまざまな工夫がされています。でも、雪からくらしを守る努力だけではなく、雪を積極的に利用して雪に親しむ工夫もしています。

問 1 A 川は、日本で最も長い川です。 A にあてはまることばを答えなさい。

問 2 B にあてはまる県を次から選んで、記号で答えなさい。

ア 新潟 イ 沖縄 ウ 徳島 エ 富山

問3 にあてはまる方位を八方位で答えなさい。

問4 下線①について、日本海を流れる暖流を次から選んで、記号で答えなさい。

ア 千島海流 イ 日本海流 ウ 対馬海流

問5 下線②について、雪国の人たちが行っている、雪から家や暮らしを守る工夫について述べた文として正しいものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア 雪が積もりにくいように、屋根のかたむきをゆるやかにしています。

イ スノーダンプという車を使って、雪をふき飛ばしています。

ウ 雪が積もる部分が少なくなるように、信号機をたて型にしているところがあります。

エ 昔は、家のひさしをのぼしたかんじきという設備で、人が行き来しやすいようにしていました。

問6 下線③について、雪が通行のじゃまにならないように、通路の中央につくられたパイプから地下水をふき出させ雪をとかしているところもあります。にあてはまることばを答えなさい。

練習2. 次の文は、十日町市に住む小学4年生が、自分たちの町について紹介したものです。これを読んで、後の問いに答えなさい。

本州中央部のに面した①北陸地方は、世界でも指おりの豪雪地帯です。北陸地方は冬になると、②で水蒸気をふくんだの季節風が大量の雪をふらせます。とくに山間部では深く、3～4メートルもつもることがあり、4か月以上も雪にうもれています。このような雪の深い地域では、③特別な家をつくったり④雪がくらしや産業にいろいろなえいきょうをあたえています。

雪国のおもな都市では、道路の中央に地下水を利用したをつくったり、で雪を取り除くようになりました。そのために交通がとだえたり、産業の活動がとまったりすることは少なくなりましたが、いまでも、⑤屋根につもった雪を片づける作業はたいへんです。

問1 ～にあてはまるものをそれぞれ次から選んで、記号で答えなさい。

ア 流雪こう イ 太平洋 ウ ローター車

エ 南東 オ 消雪パイプ カ 日本海

キ 消防車 ク 北西

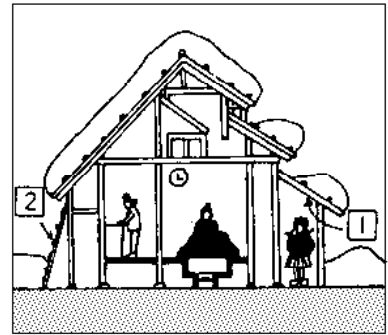
問2 下線①にふくまれない県を次から選んで、記号で答えなさい。

ア 石川県 イ 富山県

ウ 長野県 エ 新潟県

問3 下線②の^{げんいん}原因となっている海流の名を答えなさい。

問4 下線③について、右の図の①・②を何とといいますか。



問5 下線④に関係の深いものには○、そうでないものには×で答えなさい。

1 日用品ややさい、魚などが不足して、ねだんが上がる場合があります。

2 なだれやがけくずれのほか、地^{ちんか}ばん沈下などの被害^{ひがい}がおこります。

3 農業ではうら作がむずかしいうえに、果樹^{かじゅ}の枝折れ^{えだお}の被害^{ひがい}をよく受けます。

4 農業のできない冬の間は、出かせぎに行く人がいます。

問6 下線⑤は雪ほりともいいますが、もうひとつのいい方を次から選んで、記号で答えなさい。

ア 雪おろし イ 雪かき ウ 雪まき エ 雪取り

【まとめ 解答】

1. 信濃 2. 新潟 3. 根雪 4. 長野 5. 日本海 6. 北西 7. 対馬
8. 雪おろし 9. 雪囲い 10. 太 11. 急 12. かんじき 13. ローター
14. 流雪溝 15. 消雪パイプ 16. 防雪 17. がんぎ 18. アークード
19. 中部 20. 北陸
A 対馬 B 信濃 C 日本 D 佐渡島 E 越後

【練習問題 解答】

練習 1.

- 問1 信濃 問2 ア 問3 北西 問4 ウ 問5 ウ 問6 消雪

〈解説〉

問1 信濃は、長野県の昔の国の名です。信濃国から流れてくる川という意味です。長野県内では千曲川とよばれ、新潟県に入ると信濃川という名にかかります。

問3・4 大陸から吹く冷たくかわいた北西の季節風と、日本海を北上する暖流の対馬海流などの影響で、日本海側に多くの雪が降ります。(→『予習シリーズ4年上』p.77)

問5 ア：雪が多く降る地方では、屋根のかたむきを急にして、雪が積もりにくいようにしています。イ：通路の除雪を行うのは、ロータリー車です。エ：昔は、家のひさしをのばしてがんぎをつくり、人が行き来しやすいようにしていました。かんじきは、雪の深いところを歩いたり、雪おろしをするときなどに、くつに結びつけて使う道具です。

練習 2.

- 問1 A カ B ク C オ D ウ 問2 ウ 問3 対馬海流
問4 ① がんぎ ② 雪がこい 問5 1 ○ 2 × 3 ○ 4 ○ 問6 ア

〈解説〉

問5 1：道路や鉄道が積雪のために使えず、食料品などを運ぶ流通が途絶することがあります。2：「がけくずれ」があてはまりません。「地盤沈下」は地下水を消雪パイプのために使いすぎると起きることがあります。3：北陸地方では夏に稲作をおこなうのでこれが表作ですが、その後に積雪のため農作業ができません。そのため、水田単作地帯となっています。暖かい地方ではその後に他の作物をつくり、これを裏作といいます。

→同じ耕地で1年に一度1つの作物をつくる。 ⇨ 単作

同じ耕地で1年に2つの作物をつくる。 ⇨ 二毛作

(主たる作物を作るのが表作、それ以外が裏作)